

日時：平成29年8月30日（水）10：00～10：25

場所：市役所第4会議室

出席者：市長、副市長、企画理事、理事、企画部長

取材者：日本経済新聞、東海新報、岩手日報、岩手放送、読売新聞、岩手建設工業新聞、岩手めんこいテレビ、朝日新聞（敬称略、順不同）

※ほか、東海新報社職場見学の船渡一中生が出席

市長挨拶

9月議会は決算議会でございます。昨日も監査委員の方々と懇談させていただきました。ずっと執行率が課題となっており、昨年度は60%台に落ちてしまいましたけれども、今回は70%台後半ということで、本来は100%に近づけないといけないわけですが、それでも、職員も意識しながら復興に頑張ってくれているという評価を、私もしておりますし、監査委員からもそういった評価をいただいたところです。今日は、9月議会の内容を中心に説明させていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

会見項目

（1）平成29年第3回市議会定例会について

市長）

会期は9月1日から9月20日までの20日間です。

一般質問は10名の議員さんから通告を受けております。

提出案件であります。報告が2件、提出案件が24件であります。

はじめに、報告第1号、及び報告第2号であります。地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、平成28年度の健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の意見を付けて議会に報告するものです。

続きまして、議案第1号から議案第4号までの4件は、人権擁護委員の候補者の推薦についてであります。

これは、人権擁護委員4名の任期が、平成29年12月31日をもって満了するので、その後任候補者を推薦しようとして提案するものであります。

議案第5号は、教育委員会の委員の任命についてであります。

これは、教育委員会の委員1名の任期が、平成29年9月30日をもって満了するので、その後任を任命しようとして提案するものであります。

議案第6号は、要谷漁港海岸災害復旧（双六地区防潮堤）工事の変更請負契約締結についてであります。防潮堤背後地からの排水処理に伴う函渠工等の追加による変更であります。

議案第7号は、両替漁港海岸災害復旧（防潮堤）その2工事の変更請負契約締結についてであります。既設防潮堤の堤体コンクリート取り壊し数量等の増による変更であります。

議案第8号は、只出漁港海岸災害復旧（防潮堤）工事の変更請負契約締結についてであります。海面部の地盤改良工等の増による変更であります。

議案第9号は、陸前高田市被災市街地復興整備事業の変更業務委託契約締結についてありますが、高田地区と今泉地区の事業計画変更に伴う公共施設整備費等の増による変更であります。

議案第10号の財産の取得については、今泉地区防災集団移転促進事業の用に供する土地を取得しようとして提案するものであります。

議案第11号は、陸前高田市まちなか交流広場の指定管理者として、陸前高田商工会を指定しようとして提案するものであります。

議案第12号は、陸前高田市体育交流施設条例についてであります。

これは、市の体育交流施設として、総合交流センター、B&G海洋センター及びスポーツドームを位置付け、各施設の設置及び管理に関し、必要な事項を定めようとして提案するものであります。

議案第13号は、平成29年度陸前高田市一般会計補正予算（第2号）についてであります。

今回の補正の内容ですが、復旧・復興関連事業費等を計上しているところであり、歳入歳出予算の総額を、それぞれ3億7,948万4千円を減額し、総額を769億8,794万4千円とするものです。

主な追加事業であります。が、(仮称)総合交流センター新築工事費に、約1億700万円、広田小学校プール改修工事費に、約8,600万円、高田松原公園運動施設再整備支援業務委託料に、約6,800万円、高田小学校プール新築設計業務委託料等に、約2,650万円、(仮称)総合交流センター管理運営費及び、開館イベント開催費補助金に、約870万円、ビジネスプランコンテスト開催補助金に、500万円、子育てクーポン券購入費等に、約357万円、その他の事業になりますが、自治会館等整備事業、住民基本台帳システム整備、応急仮設住宅集会室の解体工事、まちなか交流広場指定管理料、(仮称)市民文化会館地質調査業務委託料に約8,600万円を計上させていただいたところであります。

減額の主な事業は、市役所新庁舎整備事業費で約12億3,100万円の減であります。これは当初予算に4つのパターンで示していたものの経費全てを組み込んでおりましたので、場所が決定したことにより減額するものです。

議案第14号から議案第16号までは、下水道事業特別会計から介護保険特別会計までの3つの特別会計の補正予算であります。が、説明は割愛させていただきます。

議案第17号から議案第24号までは、平成28年度の一般会計及び特別会計、並びに水道事業会計の決算についてでございます。が、審査をいただくことになっております。

以上で提出案件の説明を終わります。

【質疑】

質問)

(仮称)総合交流センターについて、名称はこのままなのでしょうか。

副市長)

愛称は決定の時期も含めて別途検討してまいります。

市長)

オープンが来春ですので、それまでには、市民の皆様に分かりやすい名前にしなければいけないと思います。

質問)

完成予定は来年2月となっていたと思いますが、来春開館予定ということでしょうか。
市長)

開館そのものは春、新年度と聞いております。

理事)

本年度中に工事が完了し来春オープンということです。

(2) 9～11月の行事予定について

企画部長)

行事予定には記載がありませんが、戸羽市長は10月1日から5日まで、アメリカ合衆国カリフォルニア州クレセントシティ市を訪問いたします。同市のデルノーテ高校と県立高田高等学校は本年2月に姉妹校協定を締結しておりますが、その際にクレセントシティ市長より招待を受けましたことから、同市の視察を行うこととなったものです。

また、10月21日から25日まで、フランス・パリを訪問いたします。期間中にパリで開催されます「シティラボ」において、「日本のまちを率いる革新的な首長」をテーマに開かれるパネルディスカッションに参加する予定です。このパネルディスカッションは前駐日米大使のキャロライン・ケネディ氏が司会役を務めることとなっており、ケネディ氏から戸羽市長に登壇の依頼があったものです。

【質疑】

質問)

11月12日の津波避難訓練について、全域で行うのでしょうか。

理事)

市内全域です。内容は昨年度と同様のものを予定しております。

(3) “わ”で奏でる東日本応援コンサート 2017 in 陸前高田の開催について

【質疑】

なし

(4) 平成29年度陸前高田市産業まつりの開催について

【質疑】

質問)

開店予定の商店や大型商業施設との連携について、具体的にはどのようなことですか。
企画部長)

これまではテントでの販売が主でしたが、今回は各店舗が店内や店舗前の販売スペー

スを活用して人を集めることを考えています。大型施設についても各テナントがありますので、産業まつり協賛というかたちでイベントをしてもらえればと考えております。

質問)

かさ上げ地での初開催ということについて、市長から意気込みを伺いたいと思います。
市長)

アバッセや図書館が完成して少しずつまちの形ができてきました。この間6年半たちますが、かさ上げ地でいろいろなことができるようになり、この間は道中踊りも行われました。市民に限らず近隣の自治体の方々にも陸前高田市の復興あるいは商工業・一次産業に携わる皆さんの元気を感じ取りに、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

質問)

何か大きな目玉はありますか。

企画部長)

新しいまちなか広場に皆さんと集えるようなかたちを考えています。本丸公園通りは歩いて楽しめるのがコンセプトですので、周辺を歩行者天国にして、全体を売り場として楽しんでほしいと考えています。後は、子供たちに楽しんでもらえるイベント等ができればいいと考えています。

市長)

高田高校海洋システム科でサバの味噌煮など缶詰を毎年販売しておりますが、太田忠道さんという料理人の監修で、エゾイシカゲガイを使った缶詰作りを進めております。産業まつりに間に合えば出品するかもということで、私は楽しみにしております。

<その他>

質問)

市役所新庁舎再建について、最新の状況と今後の進め方をお伺いします。

市長)

現在、基本方針案を議会に示しております。10～11月に地域を回って意見を伺い、パブリックコメントを経て、年明け2月頃には正案としたいと考えています。同時に、基本設計に移って、平成32年度に完成するスケジュールで進めてまいります。

質問)

平成32年度までの完成という目標と市民の声をすくうことを両立させる知恵はありますでしょうか。

市長)

この間、市役所の話をしてきたときも、位置だけではなくいろんな意見をいただいております。我々とすれば基本計画なりが出てきたときに、同様に様々な団体の人と話をしたい。ただ全て回るのは時間的に難しいので、私の現段階での考えとしては、ある程度の資料を事前にお渡しして、各団体内部で話をしていただいて、それから代表の方に集まっていただいて意見要望を教えていただくというのがあるのかなど。委員会のようなものをもって2、3人の市民の皆さんに入ってもらっても、それを市民の総意とは思えませんので、できるだけ市民の意見を広く聞けるかたちとしたいと考えています。

質問)

新しい庁舎にどのような機能をお考えですか。
市長)

基本的には皆さんの考えと同じですが、市民の皆さんが用事のある部署については利便の良い場所にしないとイケない。「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまち」を目指していますので、そういう方々には我々の直接の業務に入っていただかないとイケないし、それ以外にも市役所の中で働く場所を作り、働いている姿を見てもらうのが陸前高田市の方向性を示す道と考えております。スペースを精査しないとイケませんが、頭の中で描くのはコーヒーショップのようなものを置ければと考えています。

以 上